

表紙の写真

星降る街

沼津医師会 杉山 茂樹

新年あけましておめでとうございます。
街は東奔西走 空はゆっくり星が瞬き 街に降り注ぐ。
今年はみんなで祝杯を挙げられますように。

撮影地 御殿場市 平和公園周辺

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回され、各種事業や行事などの中止や延期を余儀なくされました。猛威を振るった第5波でしたが、10月から諸外国とは違って日本固有の収束を見せています。オミクロン株の脅威に世界各国が席卷されていますが、本誌発行時には日本はいかが相成っているでしょう。

さて本年最初の「とびらのことば」は、紀平幸一会長に「年頭所感」としてご寄稿いただき、「新年のご挨拶」として日本医師会会長の中川俊男先生に「令和4年 年頭所感」をお寄せいただきました。これからも医療界は未知の局面に遭遇しますが、軸ブレすることなく臨機応変にリーダーシップをお取りいただけると確信できます。県医師会各役員のご挨拶にもお目通しいただければ幸いです。

「祝」秋の叙勲では瑞宝中綬章を神原啓文先生が、瑞宝双光章を渡邊幸雄先生、藤田武史先生、具栄作先生が受章され、高齢者叙勲では瑞宝双光章を若林庸道先生と佐藤周三先生が受章されました。圓藤通典先生が厚生労働大臣表彰されました。誠にありがとうございます。

「都市医師会の救急医療を知る」静岡市清水医師会会長の望月篤先生に「清水区の救急医療体制」と題して、清水区の医療体制の現況、救急医療体制ならびに災害時の医療救護体制について言及いただきました。新しいJCHO清水さくら病院のこともあり、静岡医師会や葵区・駿河区の病院の協力が必要不可欠とのことでご苦労が伝わってきます。

「シリーズ～新型コロナウイルス感染症～」志太医師会理事の宮原健夫先生に「新型コロナウイルス感染症が、医師会検診センターの受診に与えた影響とその対策について」と題してご寄稿いただきました。受診者をコロナから守るため完全予約制へと舵を取り、藤枝市の特定健診受診率は県内第3位から27位へと低下してしまいましたが、これからの巻き返しが期待されます。

「医会だより」渡邊憲治先生に静岡県内科医会会長挨拶をお寄せいただきました。昭和38年9月発会の由緒ある内科医会の活動と今後の展望に言及いただきました。かかりつけ医として存分にご活躍下さい。

「日医総研だより」ワーキングペーパーとして「地理情報システム（GIS）による医療アクセス分析：滋賀県のケーススタディ」を公表しました。2020年現在と2035年将来の滋賀県での医療へのアクセシビリティを評価し、地図上に可視化しました。将来予測では診療所で医業承継問題が顕在化した場合のシミュレーションも示しました。

発症早期の軽症例に有効な核酸アナログタイプの内服治療薬モルヌピラビルの県内各地の薬局への配備が決まりました。三回目のワクチン接種によりブースター効果が得られ、かつ嚴重な水際対策が完遂されれば、第6波はさざ波のごとしが充分期待されます。最後になりましたが、院内処方で発熱外来に動しんでいる医療機関へのモルヌピラビルの配備を切にお願いいたします。

（令和3年12月12日 森 泰雄 記）

発行所 一般社団法人静岡県医師会
発行人 紀平幸一
毎月1日発行

〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠3丁目6番3号
電話〈054〉246-6151
FAX〈054〉245-1396
ウェブサイトURL <https://www.shizuoka.med.or.jp/>
Eメールアドレス ishikai@jim.shizuoka.med.or.jp

定価 880円（送料共）
（会員の購読料は会費に含まれます）
印刷所 大日三協株式会社